

第 12 回 奈良交通路線バス(ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線)
利用促進に向けた三者協議概要

日 時 令和 7 年 8 月 21 日 (木) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所 生駒市図書会館

参加者 住 民：8 名 (ひかりが丘 6 名、あすか野 1 名、西白庭台 1 名)

事業者：奈良交通株式会社 3 名

行 政：生駒市 (防犯交通対策課) 2 名

コンサルタント：システム科学研究所 3 名

話 題 (1)利用促進の取組状況の共有

(2)前回の振り返り

(3)三者での話し合い

(4)次回に向けて

概要

(1) 利用促進の取組状況の共有

- ・行政及び奈良交通から、前回の三者協議以降における行政と奈良交通による利用促進の取組状況として、バス運賃無料 DAY を令和 8 年 2 月 1 日に開催予定であることを説明した。

(2) 前回の振り返り

- ・行政及び奈良交通から、資料 1 及び資料 2 のとおり、令和 5 年度以降のひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況 (IC カード実績) と、前回の三者協議で出た意見やアイデアに対する回答を説明した。

(3) 三者での話し合い

- ・行政から、利用促進に関する協議テーマを示した。
- ・参加者で相談した結果、今回の三者協議では、協議テーマの中から「運賃無料 DAY を盛り上げるための PR 方法とは?」、「利用者数増加に直接つながる取組案を三者協議で考えて実行してほしい」について、行政や交通事業者も含めた参加者全員で意見やアイデアを話し合った。

■協議テーマの一覧

利用状況を知ってもらうためには?【現状共有】
運賃無料 DAY を盛り上げるための PR 方法とは?【広報周知】
寄付を集めるためには?【寄付・支援】
●●向けのバスマップを作成するには?【マップ作成】
運賃割引による利用促進を図るためには?【サービス向上】
問題意識をもってもらうためには?【問題意識共有】
利用者数増加に直接つながる取組案を三者協議で考えて実行してほしい

■話し合いの結果

運賃無料 DAY※を盛り上げるための PR 方法とは？

※令和 8 年 2 月 1 日に開催予定

《広報を強化する方法》

① 実施済の取組

- ・自治会でのチラシ回覧は実施済である。
- ・それだけでは周知は十分ではなく、開催自体は知っているが日時を知らない場合もあるため、新たな広報を考えたい。

② 広報対象

- ・親子へ広報して、家族でバスを利用してもらう。
 - ・幼稚園や小学校でチラシを配布したり、保護者連絡アプリ「すぐー」で情報を発信したりする。
 - ・小中学校のピロティにチラシやポスターを掲示する。
- ⇒【生駒市】「すぐー」での配信は実施済み。チラシの配布を「すぐー」に切り替えたので、チラシの配布は不可のはず。小中学校でのポスター掲示は、学校側の許可があれば可能である。
- ・奈良先端科学技術大学院大学にチラシを配布する。
- ・老人会でチラシを配布する。
- ・自治会の掲示板にチラシやポスターを貼る（タイミングが合えば）。
- ⇒【生駒市】公共施設でのポスター掲示は実施可能である。

③ バス停等の活用

- ・バス停標柱の裏面にチラシを貼る。
 - ⇒【奈良交通】バス停標柱の裏面に貼ることはできない。
- ・バス車内でチラシの吊り下げを実施する。
 - ⇒【奈良交通】車内でのチラシの吊り下げは、安全面から実施できない。
- ・バス停上屋と一体となった掲示スペースにチラシを貼る（過去にあすか野団地やひかりが丘のバス停で活用したことがある）。
 - ⇒【奈良交通】バス停上屋と一体となった掲示スペースは活用可能である。

④ その他の広報

- ・県の広報誌「県民だより奈良」に掲出する。
 - ⇒【生駒市】第 1 回の運賃 100 円 DAY の際に掲出したことがあるが、掲出スペースの競争率が高いため、実際に掲出できるか分からない。
- ・市民活動推進センター「ららポート」の LINE で広報する。
- ・自治会から住民へ PR する。

《ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線のバス利用につなげる方法》

① 開催日

- 開催日 2/1 は、利用者増加が難しい冬であるため、別時期がいいのではないかな。
⇒【生駒市】開催日は同日開催のイベントと連携して決定した。バスロゲイニングのイベントも同日開催することを検討中。利用の少ない時期に実施して利用を増やしたい。

② 対象

- どの利用者が運賃無料 DAY の対象となるのか。
⇒【生駒市】乗降場所のどちらかが生駒市内であれば対象となる。

③ 目的地

- 北コミュニティセンターはばたき（前回のららまつりの開催場所）でイベントを開催する場合は、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を利用しないので、利用増加につながらない。
- ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用増加につながるような目的地を考える必要がある。

④ 生駒駅周辺でのイベント開催

- 生駒駅周辺でイベントを開催すれば、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用増加につながる。
- たけまるホールでイベントを実施してはどうか。

⑤ コラボ・協賛

- 協賛企業を集める。
- 駅前商店街とコラボする。
- 商工会とコラボする。
⇒【生駒市】近鉄百貨店にはセールちらしでのイベント告知や、店舗内へのイベントちらし掲出などの協力をいただいている。

利用者数増加に直接つながる取組案を三者協議で考えて実行してほしい

① 市長ミッションの目的

- どういう取組が対象となるのか。
⇒【生駒市】小さな取組でも構わないので、実際に利用者数が増えたことを示したい。市全体の路線で利用者数増加につながる取組も対象となる。三者協議の具体的な取組内容として PR したい。

② 実施済・今後予定している取組

- あすか野自治会の歩こう会でバスを利用する予定である（10 月、11 月頃）。コロナ禍以降初めての開催で、自治会 HP でも周知する予定である。
- 高山地区で、路線バスを貸し切って買物ツアーを実施したことがある。
- バスをチャーターしてあすか野を回るイベントを実施したことがある。
⇒【生駒市】歩こう会でバスを利用する企画等に関する情報や参加人数は、市へ共有いただきたい。自治会が SNS や HP で発信した開催情報を、市公式 SNS でリポストして、情報を拡散することも可能である。

③ ツアー企画

- バスを利用したツアーを企画する。
 - ・例えば、お友達つながりツアー、婚活ツアー、いちご狩りや抹茶農園ツアー（高山地区）、くろんど池ツアー（くろんど荘にある浅香山部屋の大坂場所稽古場の見学）、ひかりが丘にある「日本料理いなか」での食事ツアー
- ツアーを実施する場合は、自治会内での回覧で参加者を募集することは可能だが、参加定員を決める必要がある。

④ 三者協議でバス利用

- 三者協議のミーティングと食事会を同時に開催して、バスに乗って参加する。その際に、三者協議メンバーが友人を誘って参加する。
 - ・例えば、コミュニティセンター、くろんど荘、生駒駅周辺
- ⇒【生駒市】バスに乗って三者協議に参加することも、利用者数増加に直接つながる取組成果の 1 つである。開催場所をバスで来れる生駒市図書館としているのはそれが狙い。よりバスで参加しやすい開催場所や時間があるのならば、改めて行政で検討する。

その他

- IC データによる毎月の利用状況を、自治会の回覧で周知することは可能である。
- 利用状況を住民に知ってもらうことは大事であるが、それだけでは利用増加につながらない。

(4) 次回に向けて

- 行政から、次回開催に向けて、以下の説明があった。
→・次回の開催に向けて、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を利用して三者協議に参加しやすい日時や場所を検討する。
- 次回は、今回話し合わなかった他の協議テーマ（「問題意識を持ってもらうためには？」「寄付を集めるためには？」など）について話し合う予定である。

以上